

今こそ  
若い力で  
新しい習志野。

# Report

関根ひろゆき

## 第三回定例会市政報告



ごあいさつ

謹啓 日頃より、私の政治活動に際し、絶大なるご指導、ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございます。

この度の第三回定例会において、第二中学校体育館改築工事、一般会計補正予算などの審議が行われました。

また、定例会終了後の一般会計決算特別委員会の審議では、平成27年度の歳入は前年度対比約20億円増の574億4千871万3千円。歳出では前年度対比約19億円増の534億2千255万3千円となっております。

今議会の一般質問では習志野市の定住促進事業、市立幼稚園の民営化、いじめ・虐待について質問を致しました。

是非、お目通しの上、ご意見、ご要望をお待ちしております。

謹白

平成28年10月吉日

習志野市議会議員 関根 洋幸



習志野市新庁舎工事の様子

現在習志野市では「親元近居住宅取得促進助成事業」を昨年度より実施しております。子世帯と親世帯が市内で近居するために住宅を取得した場合にかかる登記費用の一部、最大で10万円を助成します。

定住促進を図り、適正な人口構造を確保するためのこの事業の内容と、子世帯と親世帯に生じる子育てへの世代間ギャップ解消に向けた質問を致しました。

### 親元近居住宅取得促進助成事業

Q 定住促進事業の一つである親元近居住宅取得促進助成事業とはどのようなものか？

A 「若者・子育て世代の定住促進」を実現するために平成27年度から始まった事業であり、住宅を取得した場合に登記費用の一部、最大10万円を助成。

Q 昨年度の実績及び本年度の展望は？

A 昨年度は予定していた40件を上回る46件の申請があり、本年度は80件の申請を見込んでいる。

Q 近隣他市では助成額が本市よりも高く設定されているが、

定住促進を図る上で、助成額の増額は考えているのか？

A 助成額の大幅な増加は慎重に考えていく必要がある。

Q この事業を推進し、子育て世代が多く増加する。

しかしながら現在、祖父母世代との子育てに対する世代間ギャップが生じているが、このギャップ

を埋めるために「孫育てハンドブック」などが必

要ではないか？

A ご提案いただいた「孫育てガイドブック」については具体的な検討をしていく。

要望「孫育てガイドブック」は全国でまだ7例しかなく、千葉県内の自治体ではどこも取り入れていない。

世代間ギャップを埋める効果が期待されるだけでなく、作成にあたって市の支出も0あるいは少額で済む。

是非、定住促進、子育て支援や環境づくりのために早期の実現を。



治さ孫の発行のイイ※写  
全でてるイイ※写  
体れ育ブは岐卓  
行れ育ブは岐卓  
発の物

## 市立幼稚園の民営化について

Q 実花幼稚園、つくし幼稚園の私立化の進捗状況について伺う。

A 両幼稚園については、幼保連携型認定こども園として、昨年度末に移管先法人をそれぞれ決定し、平成29年度に開園を予定している。

Q 市立幼稚園の児童数及び入園率はどのようになってきているのか？

A 平成23年度1,163人であったのに対し、今年度は855人と減少している現状にあり、入園率についても平成23年度は43・9%に対し、今年度は31・2%となっている。

Q 市立幼稚園の経費はどれほどのものか？

A 幼稚園管理運営経費は総額4億2千5百万円となっており、1園あたり平均約3千9百万円となっている。

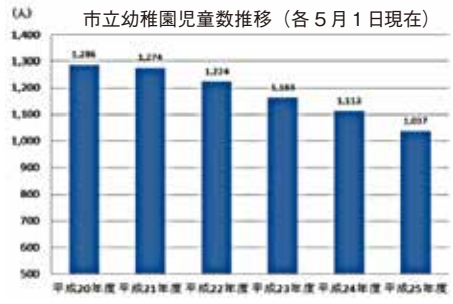
Q 県内の市立幼稚園数は？

A 県内市立幼稚園数は28市町村で118園。近隣市である千葉市、船橋市、八千代市は市立幼稚園を有しておらず、現在市立幼稚園を運営している市川市においては、段階的に廃止する方針である。

Q これらの現状を踏まえた今後の市立幼稚園の再編についての見解を伺う。

A 平成32年度からの「こども園整備と既存市立幼稚園・保育所再編計画第3期計画」を策定する中で、方向性を定めていく。

要望：平成29年度からの幼稚園保育料の改正により、市立幼稚園と私立幼稚園の差異がなくなり、市立幼稚園の入園率は減少の一途を辿っている現状を鑑み、32年度より前倒しで市立幼稚園の再編を検討していくべきである。



## いじめ・虐待の防止について

Q こども、高齢者、障がい者、DVに対する虐待や暴力、いじめの防止・解決に向けた市の取り組み、件数について伺う。

Q 習志野市にある主な都市宣言と経緯について伺う。

A 「交通安全都市宣言」、「核兵器廃絶平和都市宣言」、「健康なまち習志野宣言」を実施しており、それぞれの社会情勢を鑑み、宣言している。

Q 現在習志野市はもとより、日本全体でいじめ・虐待が大きな社会問題となっている。児童虐待等個別での宣言を行っている自治体は存在するが、市民全体に係るいじめ・虐待防止宣言を行っている自治体は存在しない。

習志野市が全国に先駆けて、都市宣言を実施し、防止、撲滅に向けて取り組むべきだと考えるがどうか？

A 具体的な検討を重ねていく。

要望：日本初の都市宣言を習志野市が実施し、都市宣言のもと、組織の縦横の更なる強化やプランの策定をし、「やさしさでつながるまち」を実現していくことを要望する。

当局からの答弁を表にして記載

各相談・通報件数	平成25年度	平成26年度	平成27年度	対策・取り組み
小中学校いじめ	小学校 1889件 中学校 334件	小学校 1775件 中学校 229件	小学校 3144件 中学校 237件	・いじめ防止基本方針 ・いじめ問題対策組織の条例化 ・アンケートの実施 ・関係機関との連携
児童虐待	285件	326件	321件	・「ならしのこどもを守る地域ネットワーク」の設置
高齢者虐待	21件 (7件虐待認定)	26件 (2件虐待認定)	23件 (6件虐待認定)	・事業者等と連携 ・窓口での相談 ・施設利用時の確認
障がい者虐待	7件 (2件虐待認定)	14件 (9件虐待認定)	9件 (5件虐待認定)	・虐待防止センターの設置
DV	211件	249件	195件	・相談窓口の設置

### 高知県庁視察



### 硫黄島訪島事業への参加



小林鷹之防衛大臣政務官懇話会にて



谷津秋祭りにて宮本市長、地域の方々と

## PROFILE

**関根洋幸** (せきね ひろゆき)  
 1986年7月13日生まれ  
 谷津保健病院にて出生  
 習志野市立谷津幼稚園卒園  
 習志野市立谷津小学校卒業  
 習志野市立第一中学校卒業  
 習志野市立習志野高等学校卒業  
 亜細亜大学法学部法律学科卒業  
 在学中、卒業後にWestern Washington Universityに留学  
 帰国後、参議院議員、千葉県議会議員事務所を経て  
 衆議院小林鷹之公設秘書として勤務  
 2015年習志野市議会議員初当選

ホームページ  
<http://sekine-hiroyuki.jp>  
 発行：関根ひろゆき後援会  
 習志野市谷津5-29-6

討議資料



# 活動報告